

2025 年 3 月 27 日

各 位

株式会社北洋銀行

ほっく一障がい者スポーツ基金を通じて 選手 2 名、団体 1 先へ総額 126 万円の助成金を贈呈しました！

北洋銀行(頭取 津山 博恒)は「ほっく一障がい者スポーツ基金」を通じて、北海道の障がい者スポーツに取り組む個人選手 2 名、団体 1 先へ総額 126 万円の助成金を贈呈しました。

本基金は、当行でお取り扱いしている「SDGs(パラスポーツ応援)私募債」発行額の 0.2%相当額を拠出し、道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手や団体等に、官民連携で構成している「ほっく一障がい者スポーツ基金選定協議会※」による協議を踏まえ助成しています。これにより、本基金による助成額は 2,710 万円(延べ 62 先)となります。選手・団体の詳細につきましては、別紙を参照ください。

当行は今後も地域のお客さまとともに障がい者スポーツを支援し、多様性を尊重するより良い共生社会の実現と、地域社会の発展に貢献してまいります。

※ 選定の妥当性・公平性・透明性を図るため、北海道、札幌市、公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会、一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会、株式会社北海道新聞社、当行により構成しています。

記

【ほっく一障がい者スポーツ基金助成先】



左から順に:北洋銀行 米田常務取締役
北海道障がい者スポーツ協会 武田常務理事



岩田選手



三浦選手



左から順に:函館工業高等専門学校 山田副校長
岩田 晋作選手(車いすバスケットボール)
北洋銀行函館中央支店 今木支店長



左から順に:北洋銀行札幌西支店 竹内支店長
三浦 良太選手(アルペンスキー)
札幌科学技術専門学校 児玉校長

以 上



北洋銀行グループは、2018 年 12 月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。
【SDGs】2015 年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための 2030 年までの国際目標。17 のゴールと 169 のターゲットで構成される。

ほっくー障がい者スポーツ基金

2024年度 助成先のご紹介

『SDGs（パラスポーツ応援）私募債』について

お客さまに私募債を発行いただくことで、北洋銀行が「ほっくー障がい者スポーツ基金」を通じて道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手・団体等に助成金を贈ります。

発行企業さま
(お客さま)

私募債発行

 北洋銀行
(発行支援)

資金拠出

ほっくー障がい者
スポーツ基金

<選定協議会>

- 北洋銀行
- 北海道
- 札幌市
- 北海道障がい者スポーツ協会
- 札幌市障がい者スポーツ協会
- 北海道新聞社

私募債発行額の0.2%相当額を助成

道内の障がい者スポーツに
取り組む選手・団体等

2024年度助成先について

2024年度は総額126万円を助成します。

助成先の選定に際しては「ほっくー障がい者スポーツ基金選定協議会」にて、助成目的に関する2つのカテゴリーを設定し、次の3先に決定しました。

【カテゴリー 1】世界を目指す選手の応援



岩田 晋作選手
＜男子車いすバスケットボール＞



三浦 良太選手
＜アルペンスキー＞

【カテゴリー 2】普及・振興活動への支援 公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会

SHINSAKU IWATA

岩田 晋作 選手

障がい名：両内反足による障害

競技：男子車いすバスケットボール

所属：ハダース函館元町ライオンズ
車いすバスケットボールクラブ





岩田 晋作 選手

競技を始めたきっかけ

健常の野球で限界を感じていた時に地元にあったパラスポーツの車いすバスケットを母親が勧めてくれたこと

主な競技成績

- 2023年 7月 中村裕杯 アジアドリームカップ2023
国際車いすバスケットボール大会 **5チーム中1位**
- 2023年11月 第20回北九州チャンピオンズカップ
国際車いすバスケットボール大会 **3チーム中3位**
- 2024年11月 第21回北九州チャンピオンズカップ
国際車いすバスケットボール大会 **3チーム中3位**
- 2024年11月 2024 IWBF 男子U23 アジアオセアニアチャンピオンシップ
7チーム中2位 ベスト5 クラス4.0-4.5 受賞

寄付を受けた感想

この度は寄付頂きありがとうございます。
また、寄付にあたり関わってくださった全ての皆様に感謝いたします。自分を選んでいただいたことは大変嬉しく思います。それに伴い、自分の競技活動に期待してくれている人がいるということを改めて実感しました。今回の寄付をうまく活用して競技力向上に努めるとともに、結果として示して行きたいと思います。

今後の目標

U23の世界選手権が終わり次第A代表にできるだけすぐ入り、ロサンゼルスパラリンピックに出場することです。

三浦 良太 選手

障がい名：合併障害
競技：アルペンスキー
所属：IDアルペンスキーチーム



**RYOUTA
MIURA**

三浦 良太 選手

競技を始めたきっかけ

放課後等デイサービスの代表が1アルペンスキーチームの監督で、スキーも好きだった事もあり、本格的に始めました。

主な競技成績

- 2023年1月 日本IDアルペンスキー選手権大会in富良野
GS- 4位 / SL- 5位
- 2023年4月 パラアルペンスキージャパンカップinNozawa
GS 1 戦目- 2 位 / GS 2 戦目- 2 位
- 2024年 2月 ハイランドカップin手稲
GS- 3 位 / SL- 2 位
- 2024年3月 ジャパンパラアルペンスキー競技大会
in白馬村八方尾根
SL 1 戦目- 1 位 / SL 2 戦目- 1 位 / SL 3 戦目- 1 位

競技のやりがい・魅力を教えてください

大会などで難しいコースセットの時に自分の思った通りに攻略でき、結果が残ったときは達成感があり、楽しいです。

「これだけは他の競技者に負けない！」と自慢できるものは？

練習のときから、コースの攻略方法を誰よりも時間をかけて考え、ゴールまで、全力を出し切ることです。



今後の目標

2026年全日本ID選手権大会を優勝し、2026年世界大会でメダル獲得を目指して頑張ります。

公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会

団体の目的

北海道における障がいのある人のスポーツの普及と振興を図り、スポーツを通じた体力づくりや仲間づくりによる社会参加を啓発するとともに、健康で生きがいのある地域社会の実現に努め、福祉の向上と健全な社会の発展に寄与することを目的として活動。

寄付金の活用方法や目的

車いす使用者が主にマラソン競技のトレーニング用として使用するローラーマシンの購入に充当。

個人への貸出しまたは施設等へ設置することで、車いすマラソン選手の発掘や育成を図ることを目的とする。北海道内の冬期間でも室内での練習が可能となる用具を整備することで、将来的には当協会主催の「はまなす車いすマラソン」等に参加する道内選手の増加へ繋げることや、車いす使用者のスポーツ環境の活性化を図る。

「SDGs(パラスポーツ応援)私募債」発行企業一覧 (企業名の公表に応諾いただいたお客さまのみ)

敬称略・私募債の発行日順
(2023年度発行)

発行企業名	代表者
株式会社アイックスホールディングス	伊藤 一也
プラス合同会社	舘山 ゆかり
株式会社カドワキ	門脇 英司
株式会社アウル	谷 隆志
株式会社みずの	上野 晴港
ビルドプロテック株式会社	佐藤 孝之
江別製粉株式会社	安孫子 俊之
株式会社サンケミ	佐々木 久利
株式会社ジョウシュン重機	馬場 俊
株式会社アール住研	山本 玲司
株式会社大光	米谷 友則